

配線器具等による事故にご注意ください！！

配線器具等は、電気製品に電力を供給する重要な役割を担っていますが、見た目での危険を認識しづらく、誤った取扱いを続ける等によって事故に至るおそれがあります。

配線器具等による事故は、一年を通じて発生していますが、電気ストーブ、電気あんか等の電気暖房機器やエアコンの使用頻度が増加する12月～2月にかけて、特に多く発生しています。

製品事故情報において、配線器具等による事故は、平成22年度から平成26年度までの5年間に合計947件ありました。

被害状況を見ると、死亡事故14件、重傷事故9件、軽傷事故64件、拡大被害 493件、製品破損等367件となっています。

事故の原因としては、誤使用や不注意によるもの（197件）が多く発生しています。死亡・重傷といった重篤な被害も発生しており、注意が必要です。

また、配線器具等による事故は火災を伴うものも多く、459件（48.5%）発生しています。特に死亡事故14件はいずれも火災を伴うものです。

※独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE（ナイト）抜粋。

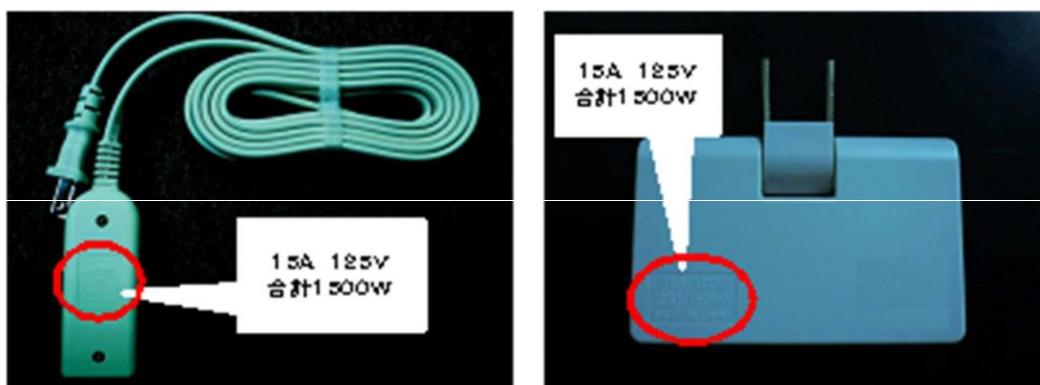
<主な事故事例>

- ① 電気あんかを使用中、電源コード付け根部分に繰り返し負荷を加えたため、電源コード芯線が断線してショートし、1人が重傷を負った。
- ② 延長コードに他の延長コードをねじり接続したため、接続不良によって接触不良が生じて発火し、住宅の一部を焼損して2人が死亡した。
- ③ コードリールの定格電流を超える電気製品を接続し、また、電源コードを全て引き出さない状態で使用したため、電源コードが異常発熱して発火し、住宅が全焼して1人が死亡、3人が重軽傷を負った。



配線器具等による事故を防ぐためには！！

「電気あんかやヘアドライヤー等の電源コードは、まきつけたまま使用・収納する等、負荷をかける使い方をしない」「延長コード・エアコン等の電源コードに改造や不適切な修理は行わない」「テーブルタップ等に接続可能な最大消費電力を超えて使用しない」などの注意が必要です。



(写真)配線器具等に記載された最大消費電力の例

また、リコール対象製品による事故も発生していますので、お使いの製品がリコール対象となっていないかご確認ください。
事故が多い時期に際して、今一度製品の正しい使用方法を確認し、事故を未然に防止するため、注意喚起を行うこととしました。

リコール情報の検索

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。